

南部東踏切の渋滞状況

南部東踏切は、県道(主要地方道豊橋湖西線)としてJR東海道本線と平面で交差していますが、幅員が約3.3mと狭隘で歩道も無いため、朝夕には渋滞が生じ、歩行者にとっては非常に危険な状態でした。こ線橋の供用開始後には撤去の予定です。



完成写真



1 事業目的

「都市計画道路 南上ノ原梅田線」は、JR東海道本線により分断されている湖西市新所原地区を南北に連絡する補助幹線道路です。

当該事業箇所付近は、既存の県道(主要地方道豊橋湖西線)がJR東海道本線と平面交差していますが、踏切道幅員が約3.3mと狭隘なため、交通上の支障となっていました。

このような交通環境の改善に加え、都市計画上の観点からも、物流の円滑化や通勤・通学時に発生するJR東海道本線新所原駅周辺の交通渋滞の解消を図ると共に、近年急速に住宅建設が進む湖西市西部地区一帯の健全な市街化を促進することを目的として、都市計画道路南部幹線から都市計画道路新所原岡崎線までの延長455mの区間について、主要地方道豊橋湖西線バイパスの位置付けのもと、平成9年度から事業着手し、平成23年3月に供用開始しました。

- 事業期間 平成9年度～平成22年度
- 総事業費 約29億円
- 設計概要 計画延長 L=455m 計画幅員 W=16.0m
(車道3.0m×2=6.0m 歩道3.5m×2=7.0m 副道5.0m×2=10.0m)
- 道路規格 4種2級
- 設計速度 40km/h

- ・ 昭和39年6月 当初都市計画決定
- ・ 平成9年7月 県により事業着手
- ・ 平成17年3月 本線BP部分の用地買収が完了
- ・ 平成19年8月 JR東海建設工事部との間で工事協定締結(H19～H22)
- ・ 平成22年1月 取合道路及び斜路付き鋼製階段工事に着手

上部工

- 橋梁形式 3径間連続PC木口一桁橋
- 橋長 L=45.0m
- 支間 13.65m + 14.40m + 14.45m

下部工

- 形式 A1：逆T式橋台 P1,2：張出し式橋脚
A2：ラーメン式橋台
- 基礎 PHC杭+中堀SC杭(φ800)

斜路付き鋼製階段(4箇所)

- 上部 鋼床版桁
- 下部 杭基礎 鋼管杭φ1,200
- 幅員 2.60m(斜路部0.6m、階段部1.0m×2)

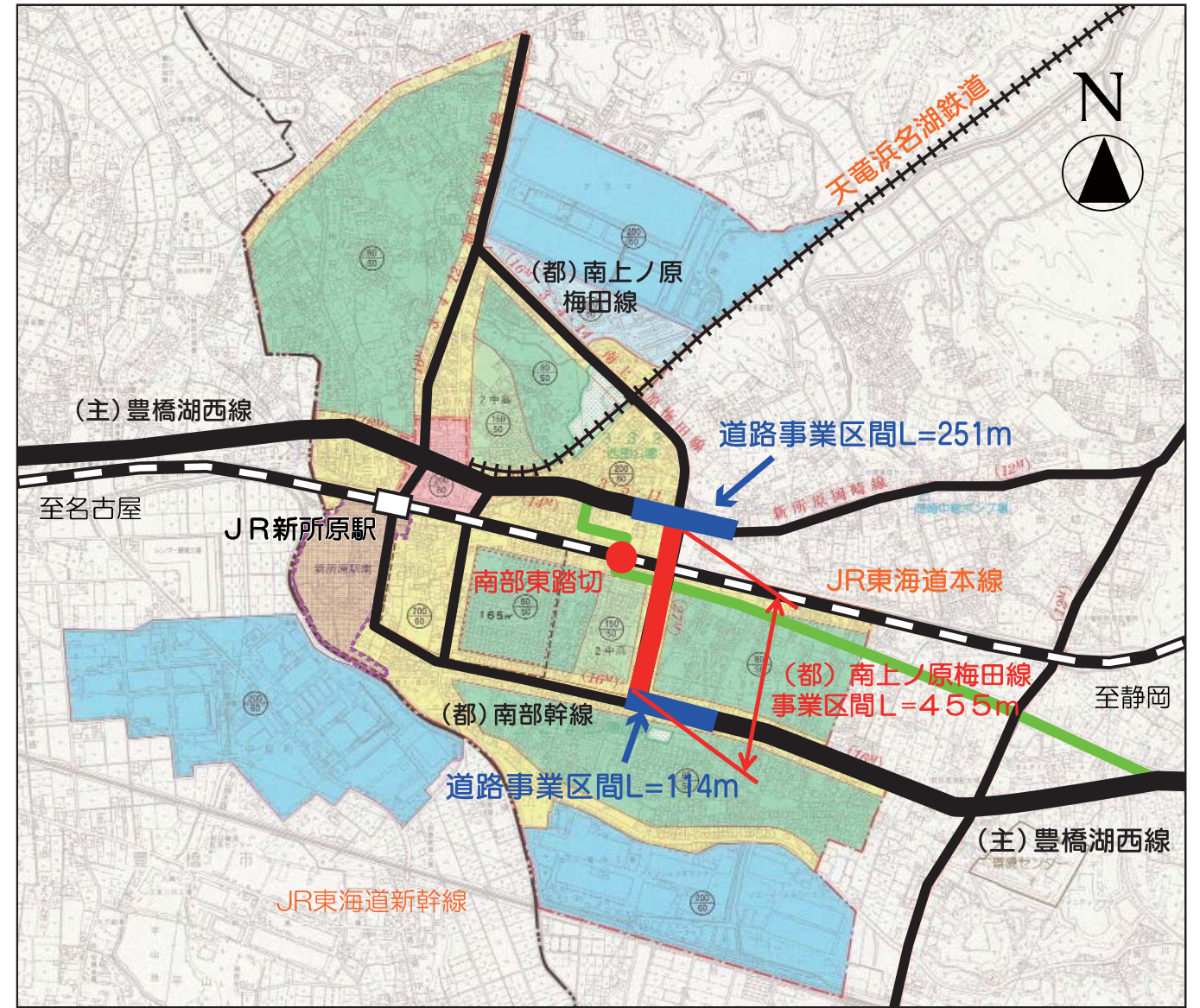
施工区分

- 上部工 県施工：桁製作、第1径間架設 JR施工：第2、3径間架設
- 下部工 県施工：A1 JR施工：P1、P2、A2
- 階段工 県施工：製作架設 JR施工：斜路付き階段杭基礎9本

2 事業概要・経緯

3 南上ノ原こ線橋概要

湖西市新所原地区概要



こ線橋橋梁一般図

